

# 日刊

THE NIKKAN

# 工業

KOGYO SHIMBUN

# 新聞

7月14日 金曜日

2023年(令和5年)

## 金属部品 プレ加工

### コンチネンタル



コンチネンタルは立山工場  
プレ加工部品事業を手がける

【富山】コンチネンタル(富山市、岡田俊哉社長)は、切断や穴開けといった加工をあらかじめ施した金属部材の販売を7月下旬に始める。アングル材や角パイプ、形鋼などに対応。同部材を購入した顧客が、組み立てるだけで完成品を作れるようにする。国内では中小の鉄工所の減少や人手不足などを受け、手間のかかる材料加工の委託が難しくなっているという。コンチネンタルは主力の板金溶接のノウハウを生かせることから、新規事業として展開することにした。

## 組み立てるだけで完成品

### 板金溶接のノウハウ活用

新事業「プレ加工部

を製作する。

品」は、施工前に工場  
で材料を切断、加工  
し、現場で組み立てる  
木造住宅建築の「プレ  
カット工法」に着想を  
得た。顧客が提供する  
製品の完成図面を基  
に、構成部品ごとの図  
面を起こし、切断や曲  
げ、穴開けといった加  
工を施しプレ加工部品

を製作する。

顧客のすそ野を広げて  
いく。価格は個別見積  
もりとする。

経済産業省・中小企  
業庁の事業再構築補助  
金を活用し、2021  
年9月に稼働した立山

工場(富山県立山町)に、必要な設備を整えた。平板やパイプ、形鋼を1台で加工できるアマタ製のファイバーレーザー加工機のほか、パイプペンダーやコンピューター利用設計・製造(CAD/CAM)を導入した。コンチネンタルは板金溶接のノウハウを活用し、組み立てや溶接のアドバースを提供するなど、充実した支援体制を用意。鋼材商社などが手がける1次加工と差別化する。